

第3種公認審判員認定会試験問題

滋賀県ソフトボール協会
審判委員会

次の文章で正しいものには○印を、間違っているものには×印をつけなさい。

	参照先	解説
1 (○) ストライクゾーンとは打者がスイングする前の「みぞおち」(上限)と「膝の皿の底部」(下限)の間の本塁上の上方空間と定義され、内外角はホームプレートに接していればストライクとなる。	RB:1-65項、7-4項	
2 (×) 検定された正規のバットが古くなったので上からペンキを塗り使用しようとした、これは変造バットにならない。	RB:1-1項	
3 (○) コーチとはチームの責任者であり代表者である。	RB:1-15項	
4 (×) インフィールドフライとは無死または一死で、走者一、二塁で打者が内野に打ち上げた飛球で(ラインドライブ、バント飛球は除く)野手が容易に守備できる飛球のことをいう。	RB:1-38項	“満塁”もあることを忘れないこと
5 (○) 競技場は状況に応じて、特別グラウンドルールを設定してもよい。	RB:2-2項	
6 (×) ダブルベースとは、一塁の守備者と打者走者との接触などの危険防止のために用いるベースである。第3ストライクの落球で一塁に走った時はどちら(白色、オレンジ色)に触累してもよい。	RB:2-4項	ルールブックの中の唯一の「特例」以外は白色ベース
7 (×) 3号球には、3号・2号バットのどちらを使用してもよい。	RB:3-2項	3号球には3号バットを
8 (○) 投手が使用するグラブは、多色でもよいが球以外の色でなければならない。	RB:3-3項 2.	
9 (○) 金属製スパイクは実業団男子・女子、クラブ男子・女子では使用できる。	RB:3-4項 3.	
10 (×) 高校生以下のベースコーチはヘルメットを着用することが望ましい。	RB:3-5項 4.(1)	
11 (○) プレイ進行中にヘルメットを意図的に脱ぐと直ちにアウトになる。但しオーバーフェンスのホームランの時は適用しない。	RB:3-5項 4(6) (注1)	
12 (○) 打球がファウル地域に放置した用具に触れたときはファウルボールである。	RB:3-6項(注2)	
13 (×) ストッキング、ソックスはユニホームの一部ではない。	RB:3-7項 1.	
14 (×) ユニホームナンバーは監督は30、コーチは31・32、主将は10、他のプレイヤーは1から100までの番号とする。	RB:3-7項 2.	1～99まで 背と胸下につけることも 忘れないこと
15 (○) ベースコーチの一人は、コーチボックス内にスコアブックと筆記用具を持ち込んでもよい。	RB:4-1項 3.(4)	
16 (○) チームが試合を開始し、継続するためには編成に必要な人数を有していなければならない。	RB:4-3項 3.	没収試合になることを 知っておいて
17 (×) DPの打順は、その試合中変更することができる。	RB:4-5項 3.	
18 (○) プレイヤーを交代させようとするチームの監督は、球審に通告しなければならない、このときに交代が成立する。	RB:4-7項 2.	
19 (×) 不正交代とは次のような場合をいう。 ①再出場違反 ②DP違反 ③失格選手の出場 ④代替プレイヤー違反	RB:4-7項 (注)	5つあることを忘れない こと
20 (○) 打者は試合中いかなるときも、故意に打者席のラインを消すとワンストライクが宣告される。	RB:4-8項 3.	
21 (○) ベンチに入ることを許された者は、試合中、競技に関わるとき以外はベンチを出てはならない。出ることが許されるのは、審判員が認めた場合とルールに基づいている場合だけである。出た場合はチームに対して警告が与えられ、再度繰り返すと、その違反	RB:4-9項	

第3種公認審判員認定会試験問題

滋賀県ソフトボール協会
審判委員会

次の文章で正しいものには○印を、間違っているものには×印をつけなさい。

	参照先	解説
22 (×) 捕手が累上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、捕手が出塁し、走者となったとき、捕手の代わりにテンポラリーランナーを使用しなければならない。	RB:4-11項	攻守交替のわずかな時間(1分)に準備投球済ませられるようにする目
23 (○) チームのプレイヤー、関係者から、審判員が暴言や暴行を受けたときには没収試合と	RB:5-3項 6.(9)	
24 (×) 守備側の打合せが内野内で行われた場合、打合せが終了したとみなされるのは監督がベンチに戻ったときである。	RB:5-8項 2.	ファウルラインを跨いだ時点
25 (○) 投手の交代を球審に通告する前後に、監督・コーチが投手と打ち合わせをしても、「打ち合わせ」とはみなさない。	RB:5-8項 2.(6)	
26 (×) 投球時、軸足を投手板から持ち上げて、再び置き直して投球した、不正投球にはならない。	RB:6-3項 7. (注1)	投手板上で軸足をずらす(スライド)のは構わな
27 (×) 投手は球を受けるか、球審がプレイの指示をしたのち、30秒以内に次の投球をしなければならない。	RB:6-3項 11.	20秒ルール
28 (○) 捕手は、無走者のとき投球後一塁へ送球した、球審からワンボールの宣告があった。	RB:6-6項 2.	無走者の時、ボールインプレイ、ボールデッドに関わらず
29 (×) 故意四球が球審に通告されてもインプレイなので走者は進塁できる。	RB:6-8項(注3)	ボールデッドとなることを忘れないこと
30 (○) 投球動作中に投手の手から球がスリップしたとき、各走者はアウトになる危険を承知で進塁できる。	RB:6-11項	ボールインプレイ
31 (○) 次打者は次打者席内で待機しなければならない、なお、一塁側、三塁側どちらの次打者席内で待機してもよい。	RB:7-1項 2.	
32 (×) 打者は球審が、プレイを指示したのち、20秒以内に打撃姿勢をとらなければならない。	RB:7-3項 1.	10秒以内、効果もワンストライクが宣告されること
33 (○) 打者は投球間に打者席から完全に出て行ってサインの確認をした、球審からワンストライクが宣告された。	RB:7-3項 4.	
34 (×) 無死または一死で一塁に走者がいるとき、または二死走者一塁のとき、捕手が第3ストライクを捕球できなければ、打者には一塁に進む権利がある。	RB:7-6項 3.	一塁に走者がいるか否か、“振り逃げ”の条件を押さえておいて
35 (×) フェアボールがファウル地域上の審判員に触れたので直ちにボールデッドを宣告した。	RB:8-1項 6.	ファウル地域の審判員は石ころで、ボールインプレイ
36 (○) インフィールドフライが宣告された打球が、塁を離れている走者に触れたときは、その走者もアウトになりボールデッドである。	RB:8-2項 5.	塁上にいれば問題ない
37 (○) 打者走者が一塁を空過したのち、塁に戻る前に守備側からアピールがなければ打者走者をアウトにする権利を失う。	RB:8-2項 6.<効果>	

第3種公認審判員認定会試験問題

滋賀県ソフトボール協会
審判委員会

次の文章で正しいものには○印を、間違っているものには×印をつけなさい。

	参照先	解説
38 (○) 無死または一死で一塁に走者がいるとき、野手が容易に捕球できるはずのフェア飛球を地面に落ちる前に手またはグラブで打球に触れたのち故意に地面に落としたので、ボールデッドで打者走者をアウトにした。	RB:8-2項 15.<効果>	“故意落球”
39 (×) 打者前のゴロで、フェア地域で打者の手放したバットに、球が偶然当たった、打者アウトである。	必携:P31	アウト、アウトではない、ファウルボールのそれぞれのケースを覚えておく
40 (○) バットリング、および素振り用の鉄棒は競技場内への持ち込みを禁止する。	必携:P35 4-(1)	
41 (×) タイムは3分以内とする。また不必要と判断したタイムは認めなくてもよい。	必携:P36 6-(1)	タイムは1分以内
42 (○) 審判員は試合が終了したとき、集合のコールをしない。	必携:P36 6-(3)	
43 (×) 投手は投球腕の指先には肌と同じ色のテーピングをしてもよい。	必携:P41 7-(1)	投手の投球腕の指先はダメです
44 (○) 打者が不正打球をしてダブルプレイが成立したときは、「不正打球」を優先させる。	必携:P42 8-(7)	
45 (○) フェンス際の捕球について、捕球直後、フェンスに衝突して、そのはずみで落球したときは、捕球とはみなさない。	必携:P43 8-(12)	
46 (×) 足を高く上げてスライディングすることは、禁止する。そのようなプレイをした走者には危険であるから注意をする。	必携:P44 9-(4)	その走者は退場になることを覚えておく
47 (○) 正しい走塁をして本塁に触れた走者は、その後勘違いして三塁に戻っても得点は認められる。	必携:P44 9-(9)	
48 (×) (公財)日本ソフトボール協会主催大会では、各球場に審判主任を置く。	必携:P45 10-(1)	審判主任だけでなく副審を忘れないこと
49 (×) 試合中メガホンを使用できるのは監督とコーチのみとする。	必携:P46 11-(2)	
50 (○) チームのメンバーに、塁における判定に対して、アウト、セーフの発声をさせないよう指導する。	必携:P46 11-(7)	